



『まめまめくん』

デヴィッド・カリ/文 セバスチャン・ムーラン/絵
ふしみ みさを/訳 (あすなろ書房)



お人形のくつをはき、マッチ箱の中で眠るまめまめくんは、小さいけれど、何でもできた。そう、小学校へ行くまでは…。みんなとちょっと違う子にエールをおくる、心あたたまる絵本。

『ミライの授業 FUTURE LECTURES』

瀧本 哲史/著 (講談社)



21世紀の第1世代として、きみたちだけの未来をつくろう！京都大学で教鞭をとる著者が、全国の中学校に届けた特別講義を書籍化。かつて世界を変えた人物たちの人生を通して「未来をつくる法則」を伝える。

『よのなかルールブックメシが食べる大人になる!』

高濱 正伸/監修 林 ユミ/絵 (日本図書センター)



迷ったときは、キツイほうを選ぶ。自分のことばで話せる人になる。「ありがとう」を口ぐせに。少しずつ下り坂の道をすすんでいる日本で、人生を生き抜くために必要なことを、50のことばとともに紹介する。

『さかなクンの一魚一会 まいにち夢中な人生!』

さかなクン/著・イラスト・題字 (講談社)



たくさんの人に出会って、見守られて、お魚好きの男の子はさかなクンになりました。ワクワクと感動がいっぱいの生き方のひみつがつまった、さかなクン初の自叙伝。

『いつかすべてが君の力になる』

梶 裕貴/著 (河出書房新社)



全力でぶつかりきったその先に、きっと未来の自分はいるはず。『進撃の巨人』『七つの大罪』など、多数の話題作でメインキャストを務める声優・梶裕貴が、“夢”を仕事にする方法を伝える。

『明日は海からやってくる』

杉本 りえ/作 スカイエマ/絵 (ポプラ社)



「わたしが、この島をきらいになるわけないよ。ここは竜太の島だもん」漁師をめざす少年と、都会からきた少女。2人の思いと、島の生活の過酷な一面を描く。

『ヴァンダーカンマーここは魅惑の博物館』

樫崎 茜/著 上路 ナオ子/画 (理論社)



県立自然史博物館に職場体験に行った5人の中学生は、くじ引きで魚類、鳥類、哺乳類、古脊椎などに分かれて、各部の仕事を手伝うことに…。魅惑の宝庫(ヴァンダーカンマー)での、5人それぞれの刺激に満ちた1日を描く。

『地図を広げて』

岩瀬 成子/著 (偕成社)



弟の圭に4年ぶりに会ったのは、2か月前のお母さんのお葬式だった。中学生の鈴とお父さんが住むマンションに、一緒に暮らすことになった圭がやってきて…。互いを思いながら、手探りでつくる新しい家族の日々を描く。



『コンビニたそがれ堂』

村山 早紀/著 (ポプラ社)



受け取らなかったプレゼント、捨てられてしまったお人形…。駅前商店街のはずれ、夕暮れになると現れるコンビニ「たそがれ堂」。大事な探しものがある人は、必ずここで見つけれられるという。ちょっぴり不思議で心温まる物語。

『さよなら、田中さん』

鈴木 るりか/著 (小学館)



田中花実は小学6年生。ビンボーな母子家庭だけれど、底抜けに明るいたくましいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きている…。母娘を中心とした日常の事件を、鮮やかな筆致で描いた連作短編集。全5編を収録。

『3年7組食物調理科』

須藤 靖貴/著 (講談社)



県立新居山総合技術高校食物調理科、通称「ショクチョウ」。3年7組の30人は料理の道を志している。怒るとコワイ小梅先生と、調理に明け暮れる毎日を過ごす高校生たちの、熱くて美味しくてほろ苦いクッキング・ストーリー。

『13歳のシーズン』

あさの あつこ/著 (光文社)



家庭環境も違えば性格も違う、中学の同級生4人は、夏休みの宿題の年表と一緒に作ることに。次第に互いの存在を認め合うようになるが、年表にトラブルが発生し…。

『翼はいつまでも』

川上 健一/著 (集英社)



60年代、東北の田舎町。野球部の球拾いに明け暮っていたぼくは、ある夜、運命の曲と出会う。ビートルズのくれた勇気を胸に、大人の男になろうと自転車ですり旅に出る。

『ありがとう、さようなら』

瀬尾 まいこ/著 (KADOKAWA)



辞めてやるって思うことも時々あるけれど、せんせいの毎日はそれ以上の感動がいっぱい! 中学校で国語教師を続けながら作家として活動中の瀬尾まいこが書き綴った日々の出来事。

『秘密をもてないわたし』

ペニー・ジョエルソン/著 河井 直子/訳 (KADOKAWA)



14歳のジェマは、重度の脳性まひで話せず、身体も動かさない。ところが殺人犯の告白を聞いてしまい、なんとか誰かに伝えようとするが…。全英の少年少女たちの心をつかんだ、勇気と感動のサスペンス。

貸し出し中の本は
予約も出来ます。
詳しくは職員に
お尋ねください。

